

## 15日 火曜

### 使徒

22:1 「兄弟ならびに父である皆さん。今から申し上げる私の弁明を聞いてください。」

22:2 パウロがヘブル語で語りかけるのを聞いて、人々はますます静かになった。そこでパウロは言った。

22:3 「私は、キリキアのタルソで生まれたユダヤ人ですが、この町で育てられ、ガマリエルのもとで先祖の律法について厳しく教育を受け、今日の皆さんと同じように、神に対して熱心な者でした。

22:4 そしてこの道を迫害し、男でも女でも縛って牢に入れ、死にまでも至らせました。

22:5 このことについては、大祭司や長老会全体も私のために証言してくれます。この人たちから兄弟たちに宛てた手紙まで受け取って、私はダマスコへ向かいました。そこにいる者たちも縛り上げ、エルサレムに引いて来て処罰するためでした。

22:6 私が道を進んで、真昼ごろダマスコの近くまで来たとき、突然、天からのまばゆい光が私の周りを照らしました。

22:7 私は地に倒れ、私に語りかける声を聞きました。『サウロ、サウロ、どうしてわたしを迫害するのか。』

22:8 私が答えて、『主よ、あなたはどなたですか』と言うと、その方は私に言われました。『わたしは、あなたが迫害しているナザレのイエスである。』

22:9 一緒にいた人たちは、その光は見たのですが、私に語っている方の声は聞き分けられませんでした。

22:10 私が『主よ、私はどうしたらよいでしょうか』と尋ねると、主は私に言われまし



た。『起き上がって、ダマスコに行きなさい。あなたが行くように定められているすべてのことが、そこであなたに告げられる』と。

22:11 私はその光の輝きのために目が見えなくなっていたので、一緒にいた人たちに手を引いてもらって、ダマスコに入りました。

22:12 すると、律法に従う敬虔な人で、そこに住んでいるすべてのユダヤ人たちに評判の良い、アナニアという人が、

22:13 私のところに来て、そばに立ち、『兄弟サウロ、再び見えるようになりなさい』と言いました。するとそのとき、私はその人が見えるようになりました。

22:14 彼はこう言いました。『私たちの父祖の神は、あなたをお選びになりました。あなたがみこころを知り、義なる方を見、その方の口から御声を聞くようになるためです。』

22:15 あなたはその方のために、すべての人に対して、見聞きしたことを証する証人となるのです。

22:16 さあ、何をためらっているのですか。立ちなさい。その方の名を呼んでバプテスマを受け、自分の罪を洗い流しなさい。』

パウロは手紙の中で自分のことを「使徒の中で最も小さい者」と言っていますが、それは教会を迫害したからです。しかし一方ここでの弁明のように、それがユダヤ人への証しにも用いられます。クリスチャンは過去のマイナスさえも主にあっては証しになり得るのです。

証しする者は「武勇伝」や「苦労話」にならないように、主を証しするという目的を踏まえましょう。また分かち合ってもらおう会衆も、そこか

ら主のすばらしさを悟るように聞きましょう。

パウロは救いにあたっては、主に「どうしたらよいでしょう」と聞き、主はその使命について告げられました。誰でも救われた者は神様との関係が回復し、あの10枚の銀貨のように創造された使命を果たすのです。「何をいただけますか」と聞くことはかりになっていないでしょうか。「何をすればよいでしょう」という質問もしてみましょう。またその答えを明確にいただき、その使命のために決心しましょう。それは主があなたの人生に持つておられる、計画と祝福の扉です。

パウロは「あなた…証人とされるのですから。さあ、なぜためらっているのですか。…バプテスマを受け、自分の罪を洗い流しなさい。」と言われて従いました。救いに際して、すでに使命が用意されていたのです。私たちも同じです。神の民となっても役に立たないとみなされはけません。自分自身の役割・使命を主からいただきましょう。またはすでに与えられているものを再確認しましょう。さらには何が最も大切な使命なのかを明確にしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのだの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

